

社会資本整備審議会道路分科会 平成24年度第2回中国地方小委員会
《議事要旨・議事録》

1. 日 時

平成25年2月5日（火）13:00～15:00

2. 場 所

広島合同庁舎2号館 7階 共用5号会議室

3. 出席者

<委員>

◎ ふじわら 藤原 あきまさ 章正 広島大学大学院 国際協力研究科 教授

いけもと 池本 しこ よ志子 (株)ディア・フォロン 代表取締役

こいけ 小池 あつし 淳司 神戸大学大学院 工学研究科 教授

こじま 小嶋 みつのぶ 光信 両備グループ代表

さわ 澤 きしろう 喜司郎 山口大学 経済学部 国際経済学科 教授

しのはら 篠原 やすし 靖 跡見学園女子大学 観光マネジメント学科 准教授

はった 八田 のりこ 典子 島根県立大学 総合政策学部 教授

※敬称略 ◎は委員長

4. 議 題

◎計画段階評価について

山陰自動車道（福光～江津）

- (1) 第1回地域意見聴取の結果
- (2) 地域意見を踏まえた道路計画の基本的方向
- (3) 計画段階評価の今後の進め方、第2回地域意見の聴取

5. 委員からの主な意見

○ 第1回地域意見聴取の結果について

- ・少数であっても道路整備により、この地域の課題解消につながるのか疑問を持たれている方もある。広域的なネットワーク形成の視点等を含め、この地域の課題と道路の関係をわかりやすく整理することも重要である。
- ・地域も人材を育成しながら観光圏の掘り起こしに努力されているが、今の道路の状況では、観光振興や地域活性化につながっていない。最低限のインフラ整備として道路整備が必要ではないか。

○ 地域意見を踏まえた道路計画の基本的方向について

- ・ルート案の比較において事業期間を比較要素に加えるよう検討し意見聴取に反映すること。
- ・景観への影響も考えられるので、地域の特性に配慮して進めて欲しい。

○ 計画段階評価の今後の進め方、第2回地域意見の聴取

- ・この区間の交通の半分以上は通過交通であることから、通過交通の意見をより多く聞き出すよう工夫すると良い。
- ・住民や利用者の真意を掴むためには、回答者が優先する項目を相対評価で選択できるような設問とすると良い。
- ・住民や地域の利用者、長距離の利用者ごとに、それぞれの案がもたらす効果や影響をわかりやすく整理し、意見聴取に反映すると良い。

6. 総括

- ・第1回の意見聴取の結果、地域や道路の課題、道路整備の必要性に関しての地域住民、道路利用者（長トリップ、短トリップ）、企業等の意見を総括すると、概ね同じ傾向の結果が得られたことから、政策目標の妥当性、道路整備の必要性が確認された。
- ・地域意見を踏まえた道路計画の基本的方向性は妥当と判断する。ただし、国全体の道路ネットワークの視点からも、この地域における道路整備の必要性を説明することも重要である。
- ・第2回意見聴取にあたっては、以下について検討したうえで実施すること。
 - ①より適切に、分かりやすい内容として整理すること。
 - ②住民や利用者が優先する項目が把握できる内容とすること。また、回答者の属性や居住地域などを区分して分析できるよう考慮すること。
 - ③工事期間や景観の視点も含めて比較すること。

以上